等以上の資格を有する者として国土交通大臣が認定した者であること。ただし、監理技術者の職務を補佐する者として政令で定める者を専任で置いた場合には、監理技術者の兼務を２現場まで認める。

② 平成21年度以降に、元請として完成・引渡しが完了した上記⑷に掲げる工事を施工した経験を有する者であること（共同企業体の構成員としての経験は、出資比率が20％以上の場合のものに限る。）。ただし、経常建設共同企業体の場合にあっては、一者の監理技術者が同種工事の経験を有していればよい。

③ 監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

④ 配置予定の監理技術者にあっては直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を求めることがあり、その明示がなされない場合は入札に参加できないことがある。

⑤ 経常建設共同企業体の場合の上記②ただし書きの記述に該当する者以外の者についても、上記①に定める国家資格を有する監理技術者を配置できること。

⑹ 申請書及び資料の提出期限の日から開札の時までの期間に、文部科学省から「建設工事の請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成18年１月20日付け17文科施第345号文教施設企画部長通知）（以下「指名停止措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。

⑺ 上記１に示した工事に係る設計業務等の受託者（協力を受ける他の建設コンサルタント等を含む。以下同じ。）又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

⑻ 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。

⑼ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、文部科学省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

⑽ 建設業法施行規則第18条の２に定める経営事項審査を受審していること。

３　総合評価に関する事項

⑴ 落札者の決定方法

① 入札参加者は、「価格」及び「技術提案書」をもって入札に参加し、次の㋑、㋺の要件に該当する者のうち、下記⑵③によって得られる数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

㋑ 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

㋺ 評価値が、標準点を予定価格で除した数値（基準評価値）に対して下回らないこと。

② 上記①において、評価値の最も高い者が２人以上ある時は、くじを引かせて落札者を決定する。

⑵ 総合評価の方法

① 「標準点」を100点とする。「加算点」は、下記３⑶①及び②の評価項目において技術提案書の内容に応じ、最高42点を与える。施工体制評価点は、下記３⑶③の評価項目において、企業の施工体制に応じ、最高30点を与える。なお、施工体制評価点の低い者に対しては、加算点を減ずる場合がある。

② 加算点の算定方法は、入札価格が予定価格の制限の範囲内の者を対象に下記３⑶①及び②の評価項目ごとに評価を行い、各評価項目の評価点数の合計を加算点として付与するものとする。なお、下記３⑶①及び②において「不適切（欠格）」の評価を受けた者については、入札の参加は認められない。

③ 価格及び価格以外の要素による総合評価は、入札参加者の「標準点」と上記②によって得られる「加算点」及び「施工体制評価点」の合計を、当該入札者の「入札価格」で除して得た「評価値」をもって行う。

⑶ 評価項目　評価項目は以下のとおりとする（詳細は入札説明書による。）。

① 企業の信頼性・社会性
・ワーク・ライフ・バランス等の推進
・賃上げの実施を表明した企業等

② 企業の高度な技術力
・ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画
・工事全般の施工計画

③ 企業の施工体制
・品質確保の実効性
・施工体制確保の確実性

⑷ 受注者の責により、提出された「ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画」及び「工事全般の施工計画」に基づく工事が実施されていないと認められる場合は、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うものとする。

４　入札手続等

⑴ 担当部局　〒739―8512 広島県東広島市鏡山一丁目２番２号　広島大学財務・総務室施設部施設企画グループ施設経理担当　電話082―424―6107（直通）

⑵ 入札説明書の交付期間、場所及び方法　令和６年３月29日（金）から令和６年４月19日（金）までの日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日の９時00分から17時00分まで。本工事においては、参加に必要な資料は全て本学ＨＰよりダウンロードすること。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/contract/shisetsu
また、図面等については、入札説明書に従って入手するものとする。

⑶ 申請書及び資料等の提出期間、場所及び方法　令和６年４月１日（月）から令和６年４月19日（金）までの日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日の９時00分から17時00分まで。上記⑴に同じ。電子入札システムにより、提出すること。なお、発注者の承諾を得た場合は上記⑴に持参すること（郵送又は託送並びにファクシミリによる提出は認めない。）。

⑷ 入札保証金の納付等及び関係書類の提出期間、場所及び方法　令和６年５月15日（水）から令和６年５月23日（木）までの日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日の９時00分から17時00分まで。上記⑴に同じ。持参、郵送又は託送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る。提出期限内必着。）により提出すること。

⑸ 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法　入札書は、令和６年５月15日（水）から令和６年５月23日（木）までの日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日の９時00分から17時00分まで（ただし、最終日の令和６年５月23日（木）は、11時00分まで。）。電子入札システムにより、提出すること。なお、発注者の承諾を得た場合は上記⑴に持参すること（郵送及び託送による提出は認めない。）。
開札日時　令和６年５月24日（金）10時00分
開札場所　〒739―8512 広島県東広島市鏡山一丁目２番２号　広島大学中央図書館Ｂ１Ｆ施設部にて行う。（電子入札システム）

５　その他

⑴ 手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。

⑵ 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金　納付。ただし、利付国債の提供又は銀行等の保証をもって入札保証金の納付に代えることができる。なお、落札者が契約を結ばない場合は、本学に帰属する。また、入札保証保険契約の締結を行い、又は契約保証の予約を受けた場合は、入札保証金を免除する。

② 契約保証金　納付。ただし、有価証券等の提供又は銀行等若しくは保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

⑶ 入札の無効　本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

⑷ 落札者の決定方法　上記３⑴①に定めるところに従い、評価値の最も高い者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

⑸ 本工事に係る技術提案書等の提出にあたって、ＶＥ提案により施工しようとする場合は、その内容を示した技術提案書を提出すること。ただし、ＶＥ提案が適正と認められなかった場合においては、標準案により入札に参加できる。また、標準案に基づき施工しようとする場合は、標準案によって入札に参加する旨を記載すること。（詳細は入札説明書による。）